

●矢木沢ダム貯水率について

矢木沢ダムでは、東京電力(株)が設けた矢木沢発電所で、矢木沢ダムを上部ダム、須田貝ダム(東京電力(株))を下部ダムとして揚水発電を行うことができます。

矢木沢ダムの貯水率は、矢木沢ダムの利水容量に貯まっている水量(下図の①)と揚水発電ができるように矢木沢ダムの利水容量から放流して須田貝ダムに借り置きしてある水量(下図の②)の合計が矢木沢ダムの利水容量(下図の③)に貯まっているとして、貯水率を計算しています。

この貯水率を計算式で表しますと、

$$\text{矢木沢ダムの貯水率(\%)} = [(\text{①} + \text{②}) \div \text{③}] \times 100$$

となります。

このため、①が減らない場合でも、須田貝ダムで借り置きした水量から放流が行われますと②が減るので矢木沢ダムの貯水率は下がることになります。

【「揚水発電」とは】

揚水発電とは、夜間などの電力需要の少ない時間帯の余剰電力を使用して、下部貯水池(下池)から上部貯水池(上池ダム)へ水を汲み上げておき、電力需要が大きくなる時間帯に上池ダムから下池へ水を導き落とすことで発電する水力発電方式です。

